

A. U. 2017年卒 地域福祉コース

こんな学生時代を過ごしました

地域創生学群地域福祉コースを専攻し、特別支援学級や特別養護老人ホームでの実習を通じて、福祉について実践と座学の両面から学びました。一人ひとりの**特性に合わせた支援の難しさや、現場でのコミュニケーションの重要性**を肌で感じながら、制度や政策の背景も理解することで、福祉の現場と理論を結びつける力を養いました。

課外活動ではバスケットボールサークルと小倉祇園太鼓サークルに所属しました。小倉祇園太鼓では、町の方々に混ざって太鼓を叩き、競演会にも出場。祭の前は毎日大学と小倉北区を往復し、練習に励みました。卒業後もしばらく通い、7年間祭に参加させていただきました。**町に深く入り込まないと分からない文化**や人間関係に触れ、**地域の一員として、地域に根付く伝統へ深く関われた**ことは大変貴重な経験だったと感じています。

ゼミは深谷ゼミに所属。ゼミ活動では3年次に児童養護施設の子どもたちを対象とした合宿を企画し、企画のリーダーを務めました。子どもたちが夢中になれるよう探索型の謎解きゲームを考え、世界観に没入できるよう導入動画まで制作しました。ゼロから企画を作り上げる過程は本当に大変で、時にはゼミ生と意見がぶつかることもありましたが、何度も話し合いを行い、乗り越えることができました。施設との調整や安全面への配慮、タイムテーブルづくりなど**運営全体を見る視点も養いました**。完成したゲームで子どもたちが笑顔で楽しむ姿を見たときの達成感は、大変大きなものでした。この経験で培った**企画力や調整力は、今の仕事にも確実に生きています**。こうした学生生活全体が、地域に寄り添い課題解決に挑む今のキャリアの礎になっています。



小倉祇園太鼓に参加させていただいた時の写真。小倉祇園太鼓を通して知り合ったメンバーとは今でも交流があります。

卒業後こんなキャリアを歩んでいます

私は北九州市立大学地域創生学群を卒業後、2017年に福岡銀行へ入行しました。入行後は5年間、支店で窓口業務やローン、資産運用営業を担当し、お客さまとの**信頼関係の築き方やその大切さ**を学びました。

2022年からは**社内公募制度を活用し、地域共創部に所属**しています。地域共創部は自治体との取引全般を担う部署で、私が所属する地方創生推進室では、**地域経済の活性化や課題解決に向けた事業を企画・推進**しています。自治体や地域事業者の課題に対して事業提案を行い、FFGのソリューションを活用した伴走支援を実施しており、私は筑後地区を担当しています。現在は、**国指定伝統的工芸品「八女提灯」の認知拡大と活用機会の創出**に取り組んでいます。デザイン系大学と連携した新しい提灯の展示会や制作体験の企画を進め、今後はお土産品の開発も予定しています。また、地域共創部の取組みの一環として、2025年4月に合同出資による**まちづくり会社「Good Local 九州」**が立ち上がり、その業務にも一部携わっています。そこでは地域特性を活かした施設の企画開発や、関係人口創出に向けた取り組みを行っています。地域の方々や事業者と一緒に仕事を作り上げる今の業務は大変さもありますが、非常にやりがいを感じており、**大学時代の実習経験が活きている**と実感しています。これからも**地域経済の発展に貢献**しながら、自分自身も成長できるキャリアを積み重ねていきたいと思っています。



2025年11月末にオープンしたBEAMS JAPAN太宰府の前で。Good Local 九州が運営する、地域製品の販売拠点です。

現役生へのメッセージ

大学生活は一度きりです。ぜひ、**何でも挑戦してください**。興味があることには迷わず飛び込み、旅行にもたくさん行ってください。**知らない地域や新しい場所での出会いは、視野を広げる大きなチャンス**です。そして、どんなことも**楽しめる力を身につけてください**。失敗も経験の一部です。全力で楽しむことで、自分の可能性はどんどん広がります。**今しかできないことを思い切り楽しんでください!**

(2025年12月4日執筆)



地域共創部の取組みをもっと知りたい方はFFG地方創生メディア「bank baton」をご覧ください!